

裏面白紙

4

明治二年八月七日
九月十日
奏聞書

立案明治里八月七日

爵位頭

爵位審主事

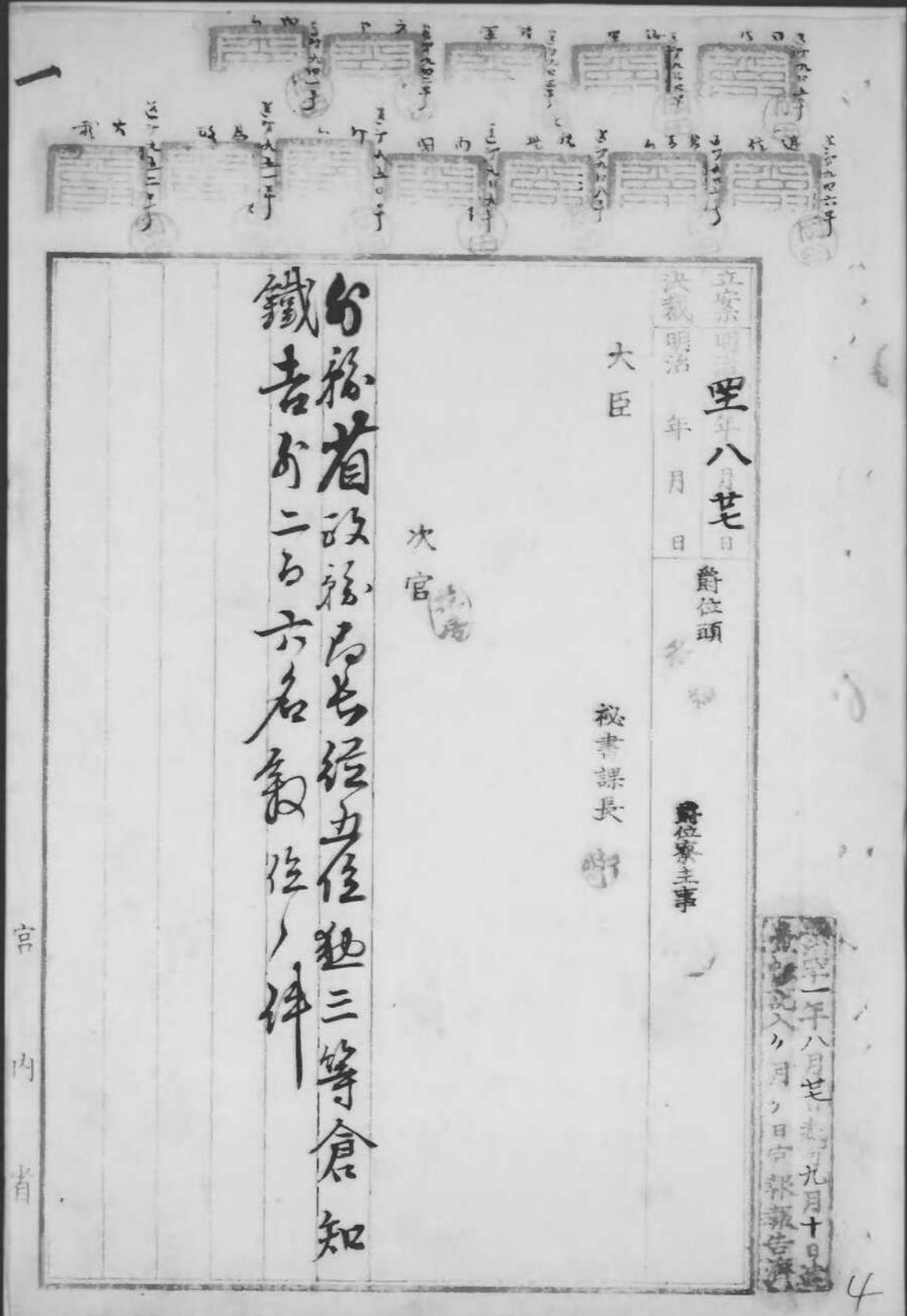
祕書課長

大臣

次官

右務省政務局長經由在地三等倉知
鐵吉右二右六名氣往ノ件

官内省





外務省政務局長従五位勲三等倉知鐵吉

外二百六名叙位ノ件

右謹テ奏ス

明治四十年八月二十七日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

内閣

5

外一。一

明治四十二年八月 日

内閣書記官

内閣總理大臣 村 内閣書記官長

外務省政務局長從五位勳三等倉知
鐵吉外二百六名敍位進階内則第二
條、依、敍位、件

徒五位勲三等倉知鐵吉

勲四等萩原守一

勲五等松井四郎

勲三等功三級湯本善太郎

全全全中館長三郎

全全功四級中目成一

全全公長谷川春朗

全全水島鐵也

工學博士大藤高彥

全全松村鶴造

叙正五位

從五位勳六等理學博士鶴田 賢次
全 松村 茂助
全 勳四等 吉田 作彌
全 畑 良太郎
全

正六位勳三等功級 田中彌太郎
全 全 全 宇木 碩太郎
全 勳五等 磯 好道
全 勳六等 鳥田 鈞一

正六位勳六等 保志 虎吉

勳五等 湯原 元一

文學博士 金澤庄三郎

高橋 豊夫

勳六等 清川 北

文學博士 岩崎 行親

勳六等 波木井九十郎

全 青柳 栄司

正六位勲四等工學博士 有坂 鋼藏
勲六等醫學博士 淺山 郁次郎
勲五等
勲三等功四級 北村 徐雲
勲三等功四級 岸本 雄二
勲五等 山崎 義質
杉 竹二郎

敘從五位

從六位勲五等 山下 中二

内閣

從六位勲四等功四級 土井市之進
深田 藤治
遠藤 金市
堀 順次郎
宮田 篤郎
鶴巻 鶴一
柴崎 雪次郎
津村 秀松
医學博士 今村 新吉
高山 尚平

従六位勲四等功四級

船橋 芳蔵

全 公

小島 鎌太郎

全 公

鶴飼 素行

全 公

吉江 石之助

全 公

國弘 荣一

全 公

渡邊為太郎

全 公

森川 清五郎

全 公

齋藤 兵吉

全 公

田中 安吉

内閣

従六位勲四等功五級

石橋 正人

全 公

中澤 伊太郎

全 公

山本 愛三郎

従六位勲四等功五級

長島 隆二

叙正六位

正七位勲六等

東郷 重清

全 公

川上 親賢

勲六等

石塚 昇

乾 貢

正七位勲五等

森 末吉

勲四等功五級

五十嵐 豊章

勲五等

水谷 梅次郎

勲六等

長谷川 乙彦

文學博士

内田 銀蔵

塚原 政次

小西 重直

神門 久太郎

片山 正雄

内

閣

正七位勲六等

足立忠八郎

伴

房次郎

吉孫子

勝

本野 亨

森山辰之助

泥谷 良次郎

山賀 成亮

勲六等

西野入禎一

勲等功五級

丸山 耕平

全 全 全

全 全 全

全 全 全

全 全 全

全 全 全

全 全 全

全 全 全

延七位勲五等
敘從六位

九鬼重善

從七位

天岡直嘉

勲六等

三吉笑吉

勲六等

朝岡 龍太郎

勲七等

三鬼鑑太郎

重六書

石井豐吉

從七位勲六等

福田鑄藏

勲七等

池内 勉

10

鈴木 盛男

卷之三

黑坂 静一
著

黒坂 静一

従七位勲六等功五級

船木 哲藏

公 全

原 訓三郎

公 全

嘉村 達次郎

公 全

高橋 拝

勲六等

楨田 護臣

公 全

結城 林蔵

公 全

岡本 存

公 全

関口 八重吉

従七位

上原 直松

公 全

矢島 喜源次

正八位勲六等

若森 美樹

従七位勲六等

松岡 武重

公 全

田中 金之丞

勲五等

中塚 庄蔵

公 全

谷口 徳三郎

正八位

澤村 猶蔵

公 全

浦口 文治

北浦 重之

敍正七位

正八位

新井英次郎

栗原深造

勲七等

箕輪田禮作

全

生熊閑三郎

全

吉川元章

全

望月閑馬

今野清

岸本常夫

日比重雅

山脇圭吉

佐藤昌

正八位勲六等功五級

本多敏樹

全

湯田安太郎

全

佐藤昌

勲六等

今村惟善

全

山田忠人

勲八等

伊藤賢三

阿部茂雄

正八位

野上 孫市

宋史 沈括
池上 醫一

長谷部 言人

中村 宜康
全先 友太郎

畠田 恵一

鈴木 錘太郎

石本義太郎

岡田 陸蔵

西川喜加郎

山人銘

正八位

叙 従七位

栗原 岩太郎
佑々 初喜
中川 駿

吉原 重時

岸本

肇

堀

将之

中谷 達次郎

勲八等

前田 千賀良
武盛 仲太

成尾 庄一郎

内閣

閣

勲八等

北野 右一
日野 萬實

藤川

信

全

袖山 金次郎

木田 吉勝

森 明

勲八等

小田原 勇角
水野 保高

勲八等

小林 欽一

伊集院與輔

山崎久米藏

渡會絹三郎

勲八等

大山綱治

萩本快吉

矢澤弘水

平川恒治

賀川哲夫

内田金二

向井政入

三好要

田村傳次郎

永見強

三宅幹夫

足利陸朗

高原来二

黒川哲二

五十嵐嚴

人見光次

敘正八位

大村八十
酒井 隆吉

内閣

一一〇

外務省政務局長倉知鐵吉从一名敍位進
階，件別紙，通上奏致候間可然御取計相
成度此段付進（准也）

明治四十二年七月八日

外務大臣伯爵林董



内閣總理大臣漢爵西園寺公望啟

外務省

正五位

叙從五位明治三十九年六月廿日

外務省參事官明治三十一年十月四日
明治三十九年二月一日
陸敘高等官三等明治四十一年六月六日
任外務省改務局長明治四十一年六月六日

從五位勳三等倉知鐵吉

正五位

叙從五位明治三十九年六月廿日

外務省參事官明治三十九年五月二十六日
任總領事明治三十九年六月二日
陸敘高等官三等明治四十一年六月六日
任外務省通商局長明治四十一年六月六日

從五位勳四等欽原守一

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級進
ラレ度謹テ奏ス

明治四十一年七月八日

外務省

外務大臣伯爵林董



一一九

特命全權公使吉田作彌外一名叙位進階件
別紙ノ通上奏致候間可然御耶計相成度此
段申進候也

明治四十一年七月二十四日

外務大臣候爵桂太郎啟

内閣總理大臣候爵桂太郎啟

外務省

正五位	明治三十七年二月廿九日 叙從五位	明治三十一年十月廿五日 任公使館一等書記官(四等)	明治三十七年二月廿九日 叙從五位
正五位	明治三十六年十二月八日 陞叙高等官三等	明治四十一年六月十六日 任特命全權公使(三等)	明治三十六年十二月八日 陞叙高等官三等
正五位	明治四十一年四月十七日 叙從五位	明治四十一年六月十八日 任外務書記官(三等)	明治三十七年二月廿九日 叙從五位
		從五位勲四等吉田作彌	
		從五位勲四等畠良太郎	

右叙位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級
進メラレ度謹テ奏入

明治四十一年七月二十四日

外務大臣子爵内正毅

外務省

外務大臣子爵内正毅



甲年七月四日
陞叙高等官六等 内閣書記官從七位 天岡直嘉
左年七月六日
陞叙高等官六等 法制局奉事官從七位 藤堂要蔵
左年七月十四日
任官 高等官三等 内閣總理大臣秘書官正五位勳五等杉竹二郎
左年七月十四日
任官 高等官四等左
從六位勳六等長島隆二

裏面白紙

人第一七八三

敍從七位

種馬所長島本格十郎

右者本年六月十三日任官被敍高等官七等候就八頭
書通り相當位初敍相成度坎段内申矣也

明治四十一年七月二十一日

馬政長官子爵曾禰荒助



内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

馬政局



別紙前田千賀良外七名欽位ノ件
上奏書進達ス

明治四十一年七月六日

内務大臣原 敬

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

正八位	五月二十九日 欽高等官八等	京都府警視勲八等	前田千賀良
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	京都府警視 勳八等	武盛仲太
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	神奈川縣警視勲八等	成尾庄一郎
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	神奈川縣警視	北野右一
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	千葉縣警視勲八等	日野篤實
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	千葉縣警視勳八等	藤川 信
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	島根縣警視勳八等	袖山金次郎
正八位	五月二十九日 欽高等官八等	木田吉勝	
右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書、通敘位			
セシテ謹テ奉ス			
明治四十一年七月六日			
内務大臣 原 敬			
内務省			

裏面白紙

27

内閣大甲第

四八五

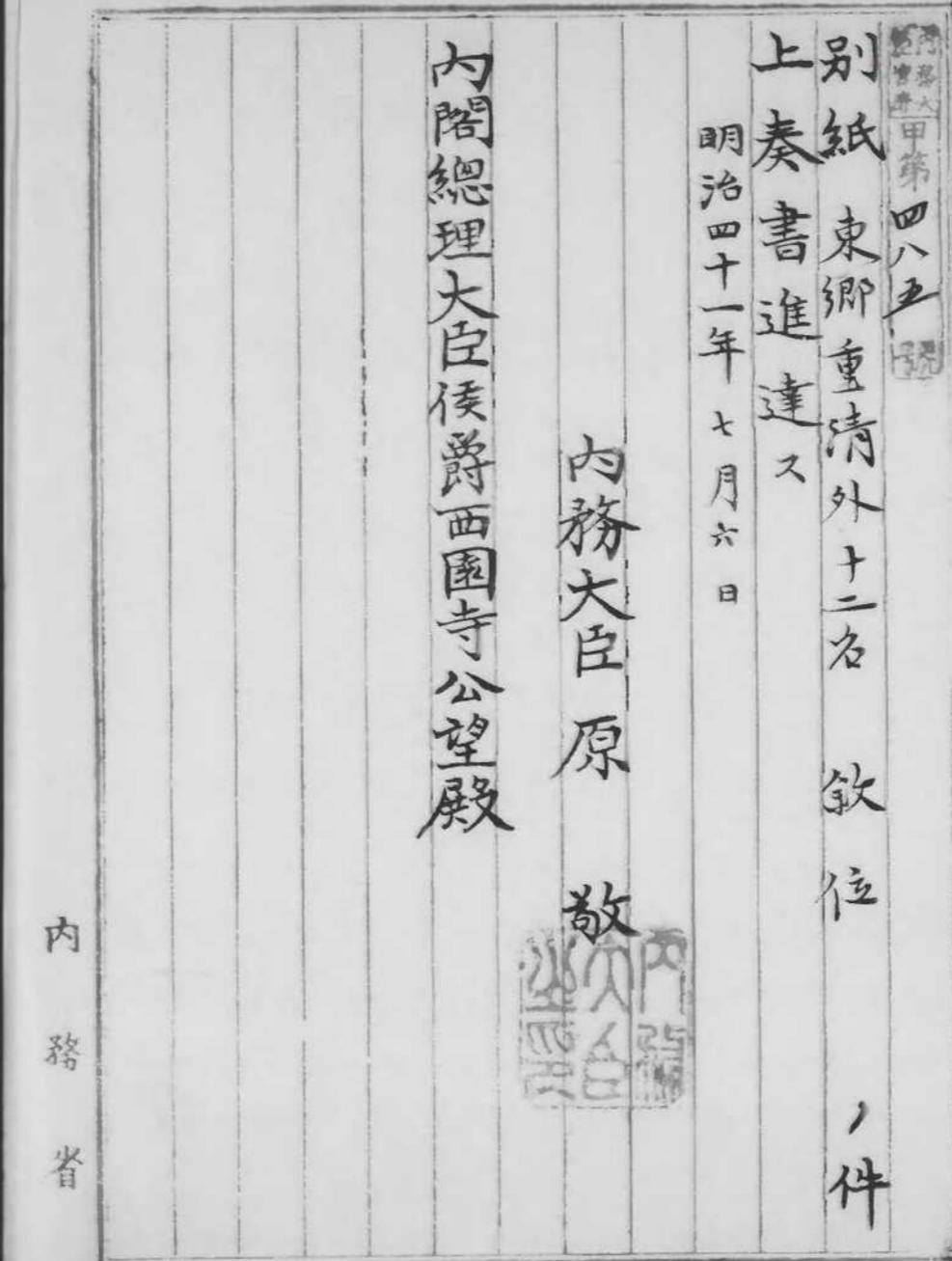
別紙 東郷重清外十二名 欽位 ノ件
上奏書進達ス

明治四十一年七月六日

内務大臣原 敬

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省



内務大臣 原 敏



内務大臣	北海道廳文廳長正七位勲六等 東鄉重清
内務省	長野縣更級郡長正七位勲五等 川上親賢
内務省	福岡縣鞍手郡長正七位勲五等 石塚 昇
内務省	佐賀縣水上郡長正七位勲六等 三吉笑吉
内務省	三重縣技師從七位 岩井藤太郎
内務省	三重縣技師從七位勲六等 長野縣技師從七位
内務省	岩手縣下閉伊郡長正七位勲五等 朝岡龍太郎
内務省	増子徳之助
内務省	三鬼鑑太郎
内務省	熊本縣技師從七位勲六等 石井豊吉
内務省	福岡縣技師正八位 渡邊英三郎
内務省	福岡縣技師正八位 莉井英次郎
内務省	栗原深造
内務省	青森縣西津輕郡長正八位勲七等 箕輪田禮作
内務省	右欽位進階勾則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級進メシテ度謹テ奏入
内務省	明治四十一年七月六日

裏面白紙

29

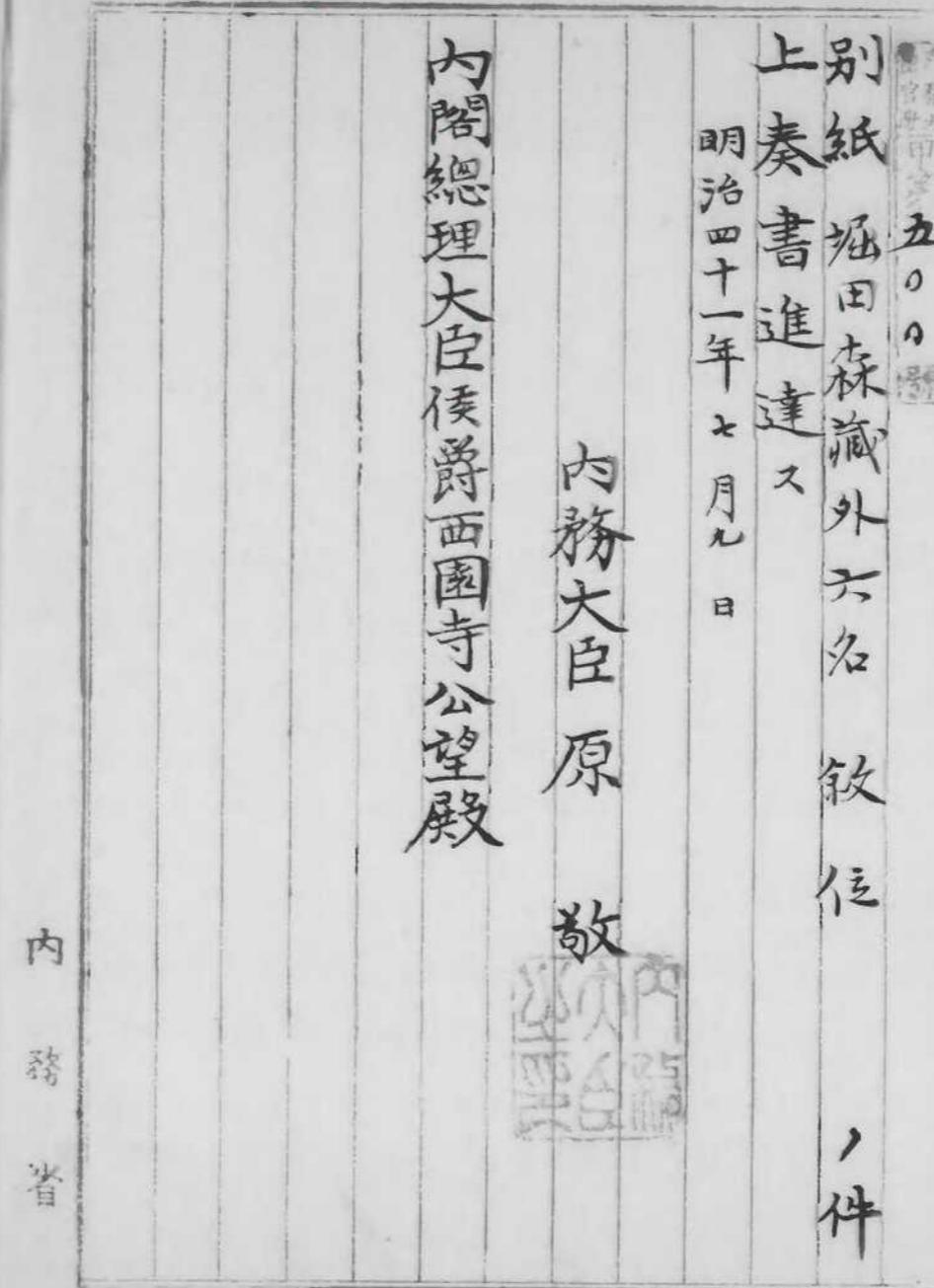
別紙 堀田森藏外六名 敘位
上奏書進達ス
五〇〇

明治四十一年七月九日

内務大臣原 敬

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省



從六位	六月八日 陸高等官五等	靜岡縣技師正七位勲六等	堀田森藏
正七位	六月八日 陸高等官六等	神奈川縣港務醫官從七位勲六等	福田鐵藏
正七位	六月八日 陸高等官六等	千葉縣事務官補從七位勲七等	脇本米司
正七位	六月八日 陸高等官六等	靜岡縣周智郡長從七位勲六等	大澤富二三
正七位	六月八日 陸高等官六等	富山縣技師從七位	池内勉
從七位	六月八日 陸敎高等官七等	神奈川縣技師正八位	生熊闘三郎
從七位	六月八日 陸敎高等官七等	長崎縣技師正八位	吉川元章

明治四十一年七月九日

内務大臣

原敬



右敎位進階勾則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級進メシテ度謹奏入

内務省

裏面白紙

31

内閣文書大甲第九。六號

別紙 山下中二 上奏書進達ス

明治四十年七月十四日

内務大臣 原 敏



内閣總理大臣伊藤四國寺公望殿

正六位滿章以上
政事縣吉城郡長役六年勤五年等
右多年奉職勤勞不怠者
付敘位進階內則
第二條依頸書通位一級進メシ度謹奏

ス

明治四十二年七月十四日

内務大臣 原 敬



内務省

裏面白紙

33

別紙

今野清外一名

致位

ノ件

上奏書進達ス

明治四十一年七月十九日

内務大臣法學博士男爵平田東助

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

内務省

従七位

六月十二日
欽高等官七等

北海道廳技師正八位

今野 晴

廣島縣技師

正八位

望月開馬

従七位

六月十一日

欽高等官七等

右敍位進階内則第二條ニ依リ頭書通位一級進ノチレ度謹テ奏入

明治四十一年七月吉日

内務大臣憲學博士男爵平岡東助



内務省

別紙

五十五

林常夫外九名 故位ノ件

上奏書進達ス

明治四十一年七月十六日

内務大臣法學博士男爵平田東助

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

裏面白紙

37

内閣大臣 第五二一

別紙

乾貢外七名

敍位

ノ件

上奏書進達ス

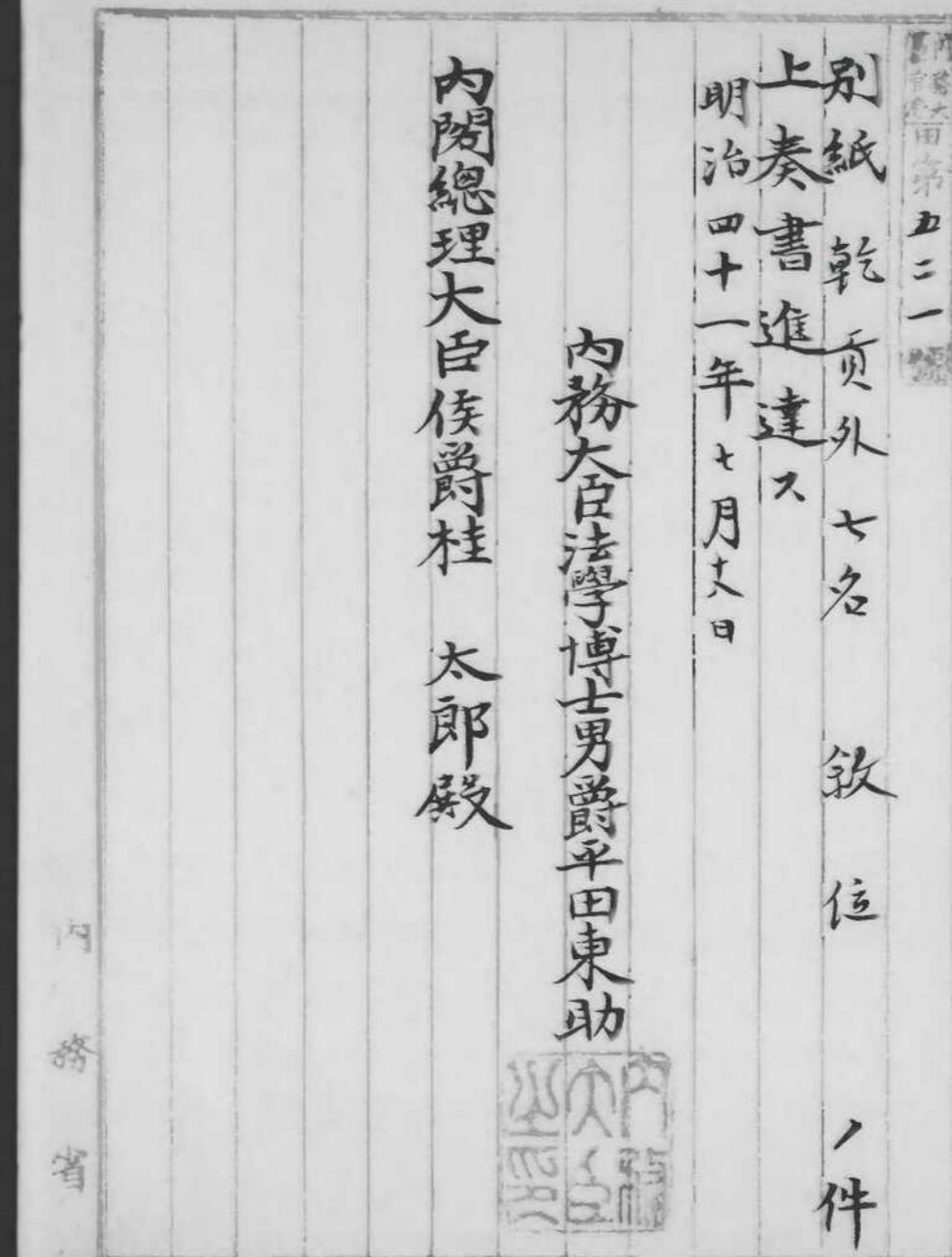
明治四十一年七月十六日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

内務省



進六位	大月十五日 陞高等官五等	愛知縣中島郡長正位勲六等	乾
正七位	六月十五日 陞高等官六等	愛知縣技師進七位	本定吾
正七位	六月十五日 陞高等官六等	鳥取縣技師進七位	奥谷茂也
正七位	六月十五日 陞高等官六等	石川縣技師進七位	鈴木盛男
進七位	六月十五日 陞高等官七等	北海道廳技師正位勲六等功級	本多敏樹
進七位	六月十五日 陞高等官七等	愛知縣技師正八位	湯田安太郎
進七位	六月十五日 陞高等官七等	青森縣技師正八位	佐藤 昌
右敘位進階内則第二條依リ頭書通位一級	東京府小笠原島廳技師正位勲六等 菅田芝芽男		

進メラ度謹テ奏入

明治四十一年七月十八日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内務省

裏面白紙

三九

内閣大臣 第五二二號

別紙

今村惟善外四名

敍位

ノ件

上奏書進達ス

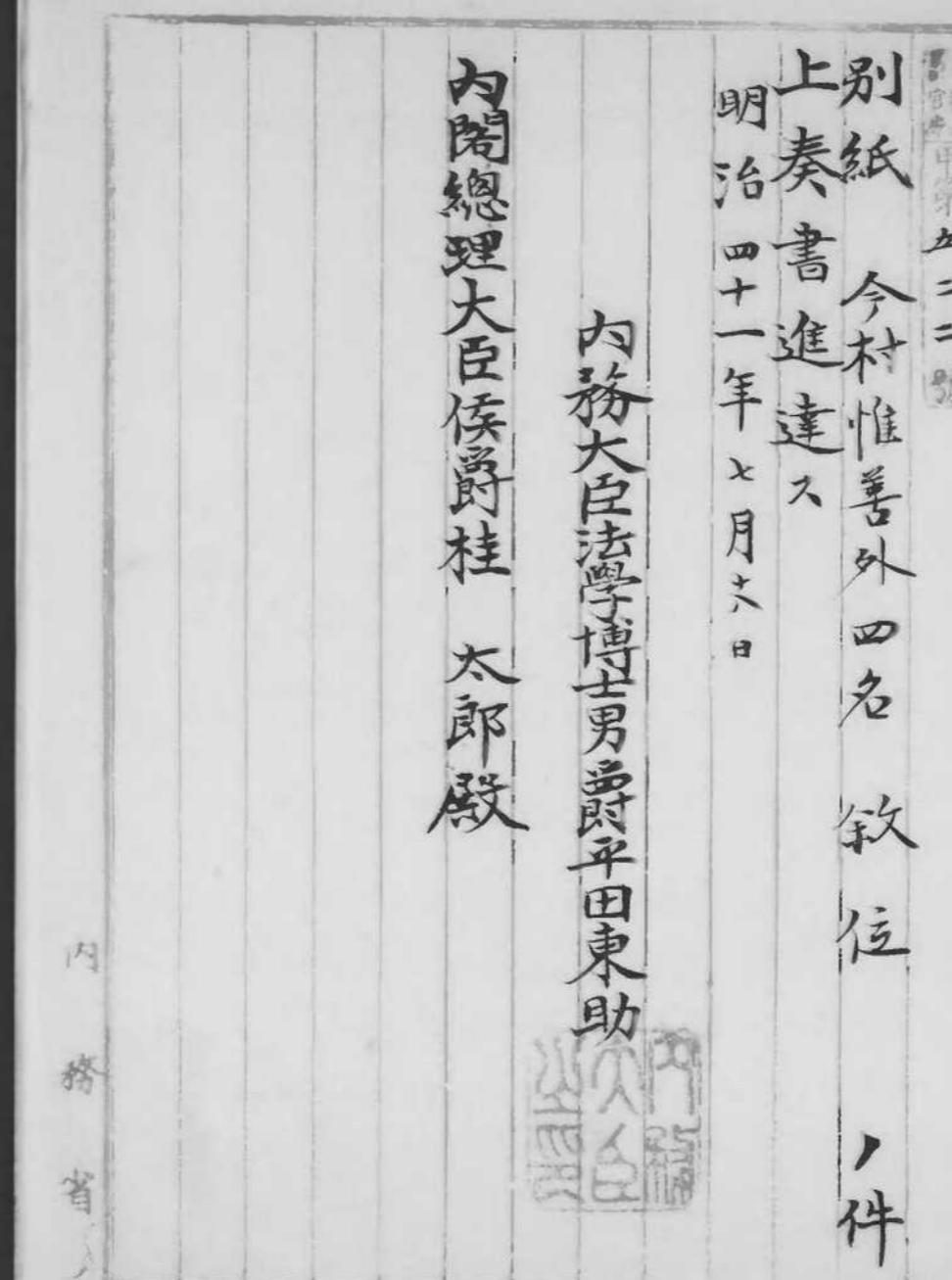
明治四十一年七月六日

内務大臣法學博士男爵平田東助

人白

内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

内務省



従七位

六月十八日
欽高等官七等

従七位

六月十八日
欽高等官七等

正八位

六月十八日
欽高等官八等

正八位

六月十八日
欽高等官八等

正八位

六月十七日
欽高等官八等

正八位

六月十七日
欽高等官八等

内務大臣瀧澤博士男爵畠東助

内務



北海道廳警視勲八等

今村惟善

鳥取縣技師 勲八等

山田忠人

福島縣技師

山崎久米藏

青森縣技師

渡會綱三郎

右敘位進階内則第二條依、頭書、通敘位セ
テ度謹ニ奏ス

明治四十一年七月十八日

別紙臺灣總督府防疫事務官魚返煥乎
敘位，件上奏書進達ス

明治四十一年七月二十日

内務大臣

法學博士

男爵

平田東助

内閣總理大臣侯爵桂太郎啟

正七位

辛未年三月三十日
叙從七位

五年以上

臺灣總督府防疫事務官從七位勲等褒賞

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通り位一級進メテ度謹テ奏ス

明治四十一年七月十五日

臺灣總督伯爵佐久間左馬太



裏面白紙

四

内務省
臺甲第 七之

別紙臺灣總督府法院檢察官松井四郎
外一名叙位ノ件 上奏書進達ス

明治四十一年七月二十日

内務大臣

漢學博士
爵平田東助

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

内務省

正五位

三十一年六月吉
叙從五位

五年以上臺灣總督府法院檢察官暨五員幹事四郎

右敘位進階內則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級
進メラレ度謹テ奏ス

明治四十一年七月十日

臺灣總督伯爵佐久間左馬太



内閣文庫
甲子年
立三六

別紙九鬼善一外一名叔位ノ件

上奏書進達ス

明治四十一年七月廿五日

内務大臣法學博士男爵平田東助

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

從六位
六月八日 陞高等官五等
和歌山縣邊草郡長正七位熟五等九鬼善一
正七位
六月二十日 陞高等官六等
群馬縣技師役七位熟六時塚庄藏
右叙位進階内則第二條：依リ頭書，通位一級
進メテレ度謹テ奏ス

明治四十一年七月二十五日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内務省

裏面白紙

47

内閣文庫

田中

七三七

別紙

官：木秀司分一石敷陞ノ件

上奏書進達ス

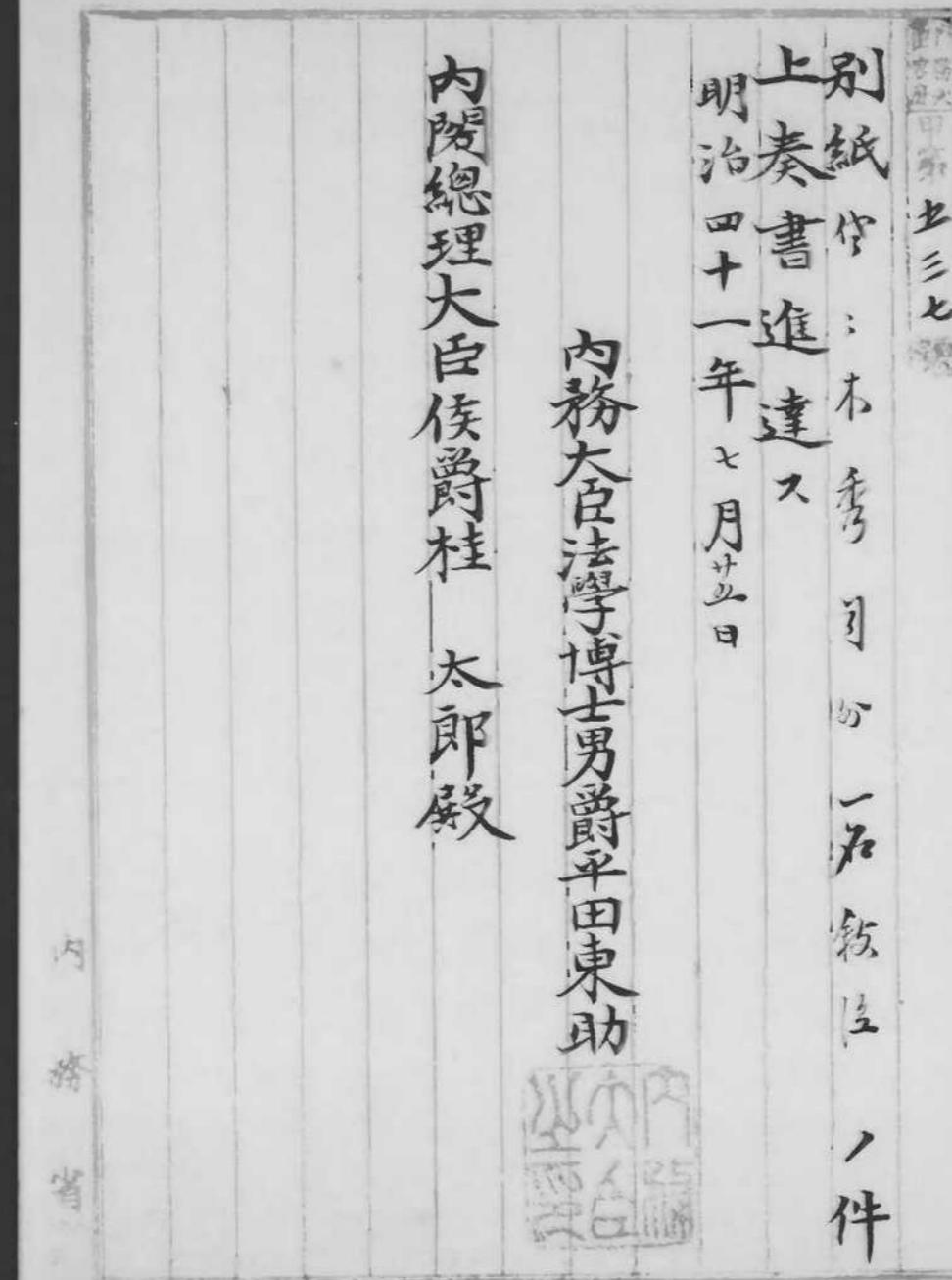
明治四十一年七月廿五日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

内務省



從七位六月二十日
叙高等官七等 警 視 佐佐木秀司
正八位六月二十三日
叙高等官八等 沖鶴縣技師 大村八十八
右叙位進階内則第二條：依頭書，通叙位
セラレ度謹テ奏入

明治四十年七月二十五日

内務大臣法學博士男爵平田東助

内務省

別紙臺灣總督府中學校教諭浦口文治參為敘位ノ件
上奏書進達ス

明治四十一年七月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助

内閣總理大臣侯爵桂 太郎殿

正七位明治四十一年六月十日
任臺灣總督府中學校教諭(六等官)—浦口文治
右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書、通り敘位
セラレ度謹テ奏ス

明治四十一年七月廿九日

臺灣總督伯爵佐久間左馬太



稅關監視官釜澤益太郎
專賣局事補酒井隆吉
右官等相當ノ位階ニ叙セラレ度謹テ
上奏ス

明治四十一年七月三十日

大藏大臣侯爵桂 太郎



大藏省

裏面白紙

初叙

在韓國
在地方

從七位

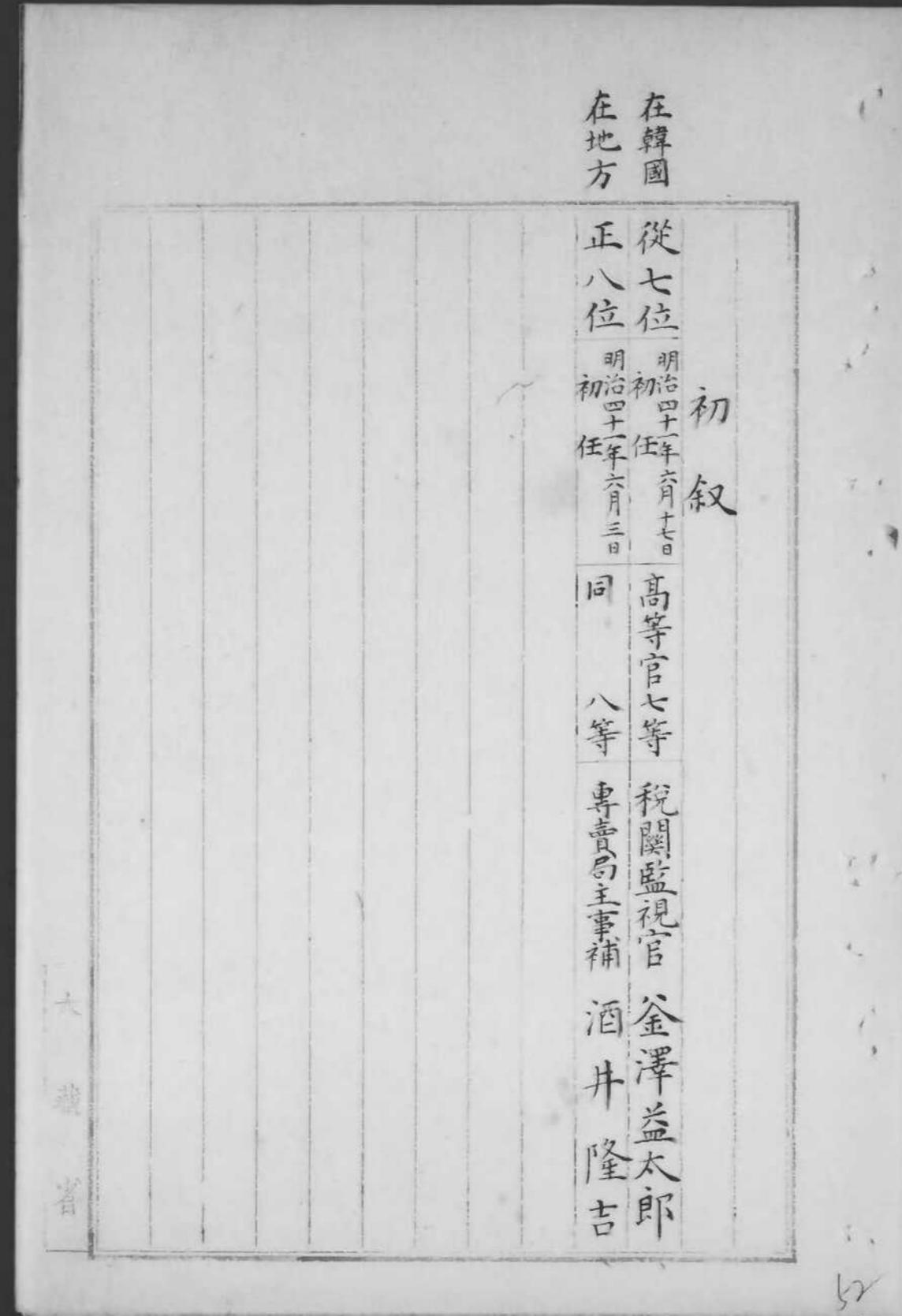
明治甲年六月三日
初任

正八位

明治甲年六月三日
初任

高等官七等 稅關監視官 金澤益太郎

同 八等 專賣局主事補 酒井隆吉



専賣局技師正八位北浦重之
右官等相當ノ位階ニ叙セラレ度謹テ
上奏ス

明治四十一年七月三十日

大藏大臣侯爵桂 太郎



大 藏 省

裏面白紙

東京

進階

正七位

明治甲午年九月十日
叙正八位

明治四士年六月廿日
高等官六等

專賣局技師 正位北浦重之

別紙陸軍歩兵少佐土井市之進以下四名現位ニ敍セラ
レ以來五年以上在職勤勞不尠者ニ付文武官敍位進階内則
第二條ニ依リ各位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治四十一年七月十五日

陸軍大臣子爵寺内正毅



正従同同六位

明治三十六年三月二十日
從六位
明治三十六年二月二十日
位

五年

陸軍歩兵少佐從六位勲四等功四級土井市之進
陸軍工兵大尉正七位勲五等木林末吉
陸軍步兵大尉正七位勳四等功五級平嵐豊章
陸軍等藥劑官正七位勳四等水谷梅次郎

別紙陸軍主計監湯本善太郎 以下二十六名文武官敍位
進階内則第二條ニ依リ各相當位ニ敍セラレ度

謹
テ奏ス

明治四十一年七月十五日

陸軍大臣子爵寺内正毅



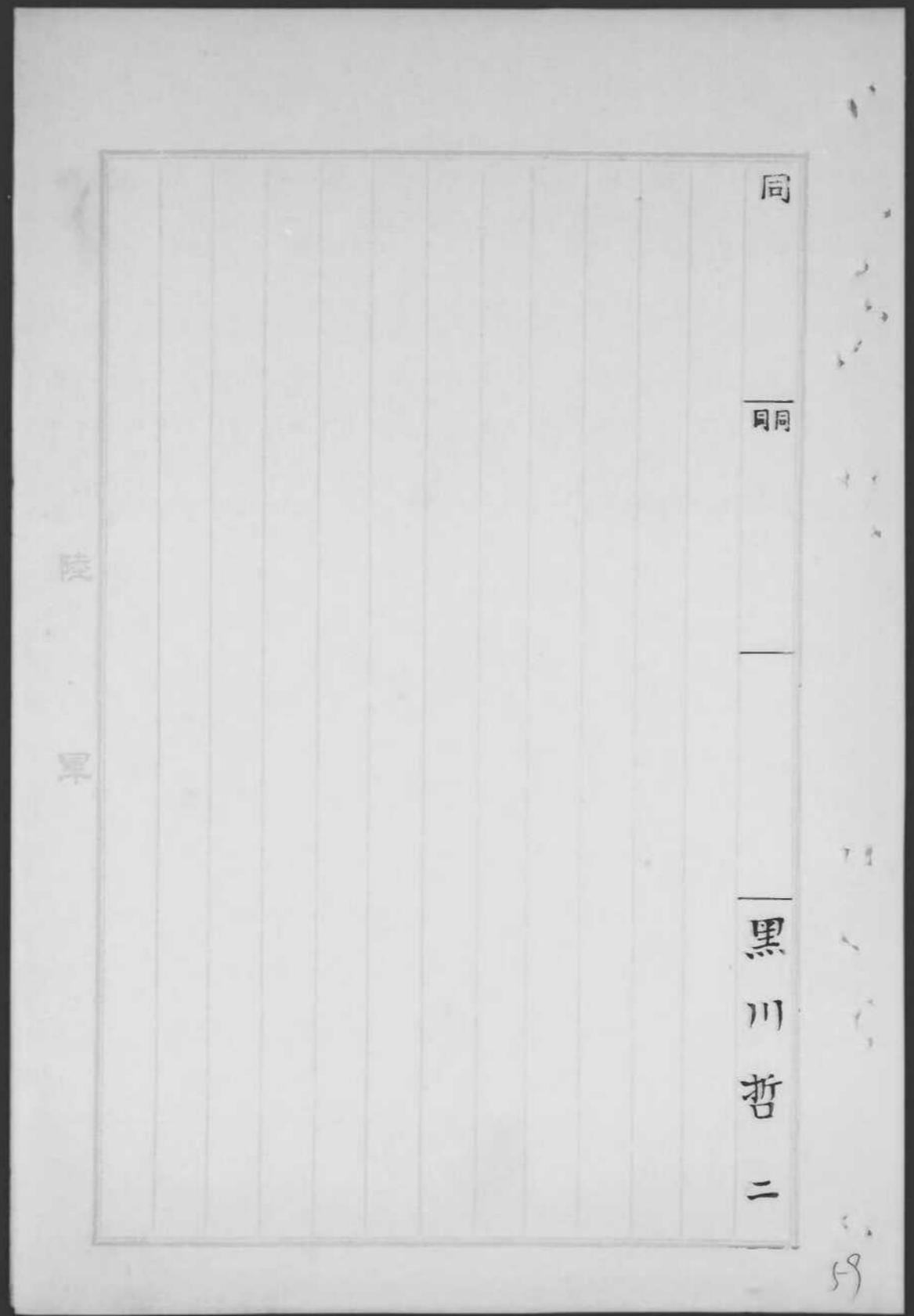
同

同同

黒川哲二

59

裏面白紙



別紙陸軍歩兵サ佐船橋芳藏以下十一名現位ニ敍セラ
レ以來五年以上在職勤勞不歛者ニ付文武官敍位進階内則
第二條ニ依リ各位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治四十一年七月二十四日

陸軍大臣子爵寺内正毅



喜田

別紙陸軍一等軍醫正北村徐雲以下三名文武官缺位
進階内則第二條ニ依リ各相當位ニ敍セラレ度
謹テ奏入

明治四十一年七月二十四日

陸軍大臣子爵寺内正毅



正從從

八六五

位位位

明治四十一年六月十三日
任陸軍一等軍醫正
明治四十二年六月十三日
任陸軍三等軍醫正
明治四十一
年六月十八日
(高等官等)

正六位勳三等功四級
正七位勳四等功五級

丸北
見山村
光耕徐
次平雲

海軍入令 九千九百

明治四十年七月二十九日

海軍大臣男爵齋藤實

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

齋藤海軍少佐以下三名叙位件文武官叙位進
階内則第3條依リ別紙上奏書進達ス

海

軍

正六位明治三十六年七月五年海軍少佐從大佐熟等功四級齋藤兵吉
正七位明治三十六年七月海軍機関兵明治三十七年七月正七位明治三十七年七月正七位明治三十七年七月正七位明治三十七年七月右各頭書之通叙佐セラレ度謹
卷八

明治四十一年七月三十日

海軍大臣男爵齊藤實

明治四一年七月三十日

海軍大臣男爵藤嶋

内閣總理大臣侯爵桂太郎

實

栗原海軍造船中技士ス下七名叙位件文書
官叙位追階内閣第二條ニ依別紙上奏書
進達ス

海軍

従^レ位

明治四十二年六月三十日
在海軍造船中校士(七等官)

栗原

岩山太郎

吉川

々和喜

坂井

本

原

座

時

駿

谷

達次

郎

之

右各頭書之通叙位シ度謹テ
奏文ス

明治四十二年六月三十日

海軍大臣 男爵 斎藤 實

海

軍

司法省職壹第一に一一號上奏

二件

右執奏有之度候也

明治三十一年七月十八日

司法大臣吉岡部长

内閣總理大臣久喜桂之印啟



訂 正

訂正理由	撮影ミスの為
訂正個所	直前の ／コマ取消 ／コマ再撮影
訂正年月日	平成20年10月21日
このフィルムは、上記の理由で取消又は再撮影し訂正しました。	
撮影者	斎藤 光始  印 
受託責任者	東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム株式会社 産業機材部長 後藤 佳久  印 

めくれず

裏面白紙

68

司法省職壹第一ニ一一號上奏

三件

右執奏有之度候也

明治二年七月十八日

司法大臣吉岡部长

内閣總理大臣多喜桂之印啟



司法省

高等官初敍位之儀三付上奏
右從後七位明治四十一年六月廿日高等官七等
同
文武官敍位進階内則第二條阿部茂雄野上孫市
謹子奏入

判事

阿部茂雄

野上孫市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

雄

市

めくれず

裏面白紙

70

司法省職壹第一号上奏

手件

右執奏有之度候也

明治三十一年七月十八日

司法大臣高岡邦長藏

内閣總理大臣彦九郎桂太郎及



高
等
官
進
位
之
儀
付
上
奏
從
五
位
正明治廿六年七月十日
六
位
檢
事
要
位
熟
五
等
璣
右
文
武
官
敘
位
進
階
內
則
第
二
條
好
道
リ
謹
テ
奏
大



司法大臣子爵岡部長職

司法省

明治四十二年七月十八日

司法省職壹第一五一七號上奏

右執奏有之度候也

明治三十一年七月廿四日

司法大臣子音岡邦長咸

内閣總理大臣彦春桂吉節啟



司法省職員第一五七號

高等官初敍位之儀付上奏

同從七位明治四十年六月二十日

判事 鈴木桂太郎

判事 石村義太郎

古文武官敍位進階内則第二條ニ依リ謹テ

奏ス 明治四十一年七月廿四日

司法大臣子爵岡部長職



司法省職壹第一五七八號上奏 案件

右執奏有之度候也

明治四十年七月二十八日

司法大臣子爵時岡部長藏
内閣總理大臣侯爵桂太郎殿



誠

右文武官銜位進階內則策第二條二
謹定奏大
明治四十一年七月廿九日
司法大臣子爵岡部長藏

司法大臣于清國
明治四十一年七月廿九日

司法大臣 予壽 国部

藏

司法省職壹第一五九二號上奏

主件

右執奏有之度候也

明治三十一年七月廿一日

司法大臣子安國部長藏

内閣總理大臣伊藤桂左郎辰



右從五位高事官進位之儀上奏
明治四十年七月三十日
文武官叙位進階内則第二條依リ
證テ奏入

司法大臣子爵岡部長藏



職甲第745號

水島鐵也外五十四名敘位ノ件
右上奏書及進達候也

明治四十一年七月四日

文部大臣男爵牧野伸顯



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

文 部 省

神戸高等商業學校長

敘正五位 従五位 水島 鐵也

明治四十一年五月二日陞敘 高等官二等

京都帝國大學理工科大學教授

敘正五位 従五位工學博士大藤 高彥

明治四十一年五月二日陞敘 高等官二等

京都帝國大學理工科大學教授

敘正五位 従五位工學博士松村 鶴造

明治四十一年五月二日陞敘 高等官二等

文部省

東京帝國大學理科大學教授

敘正五位 従五位勲六等理學博士鶴田 賢次

明治四十一年五月二日陞敘 高等官二等

文部省普通學務局長

敘正五位 従五位松村 茂助

明治四十一年五月十五日任 高等官二等

第一高等學校教授

敘從五位 正六位島田 鈞一

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

第一高等學校教授

敘從五位

正六位勲六等村田祐治

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

第一高等學校教授

敘從五位

正六位勲六等保志虎吉

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

廣島高等師範學校教授

敘從五位

正六位 重松達一郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

東京音樂學校長

敘從五位

正六位勲五等湯原元一

文部省

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

廣島高等師範學校教授

敘從五位

正六位勲五等高橋豊夫

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

東京外國語學校教授

敘從五位

正六位勲五等文學博士金澤庄三郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

第二高等學校教授

敘從五位

正六位 川北 清

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

第二高等學校教授

敘從五位 正六位 瀧川龜太郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

第七高等學校造士館長

敘從五位 正六位 岩崎行親

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

第三臨時敘員養成所教授

敘從五位 正六位 烏六等波木井九十郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

京都帝國大學理工科大學教授

文部省

敘從五位 正六位工學博士青柳榮司

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

京都帝國大學工科大學教授

敘從五位 正六位工學博士有坂鋐藏

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

京都帝國大學京都醫科大學教授

敘從五位 正六位醫學博士淺山郁次郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官三等

廣島高等師範學校教授

敘正六位 從六位深田藤治

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

熊本高等工業學校教授

敘正六位 従六位遠藤金市

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

廣島高等師範學校教授

敘正六位 従六位堀 卓次郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

金澤醫學專門學校教授

敘正六位 従六位勲六等宮田篤郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

文部省

京都高等工藝學校教授

敘正六位 従六位鶴巻鶴一

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

神戸高等商業學校教授

敘正六位 従六位柴崎雪次郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

神戸高等商業學校教授

敘正六位 従六位津村秀松

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

京都帝國大學京都醫科大學教授

叙正六位

從六位醫學博士今村新吉

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

京都帝國大學京都醫科大學教授

叙正六位

從六位醫學博士高山尚平

明治四十一年五月二日陞敘 高等官四等

廣島高等師範學校教授

敘從六位

正七位長谷川乙彥

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

京都帝國大學文科大學教授

敘從六位

正七位文學博士内田銀藏

文部省

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

廣島高等師範學校教授

敘從六位

正七位塚原政次

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

廣島高等師範學校教授

敘從六位

正七位小西重直

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

第二高等學校教授

敘從六位

正七位神門久太郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

第二高等學校教授

敘從六位 正七位 片山正雄

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

東京高等商業學校教授

敘從六位 正七位 熱六等足立忠八郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

熊本高等工業學校教授

敘從六位 正七位 岩崎重三

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

東京高等商業學校教授

文部省

敘從六位 正七位 星野太郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

京都帝國大學法科大學助教授

敘從六位 正七位 伴房次郎

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

神戶高等商業學校教授

敘從六位 正七位 吾孫子勝

明治四十一年五月二日陞敘 高等官五等

京都帝國大學理工科大學助教授

敘從六位 正七位 本野亨

明治四十一年五月二日陞叙 高等官五等

山梨縣師範學校長

敘從六位 正七位 森山辰之助

明治四十一年五月二日陞叙 高等官五等

鹿兒島縣師範學校長

敘從六位 正七位 泥谷良次郎

明治四十一年五月二日陞叙 高等官五等

廣島高等師範學校教授

敘正七位 從七位 高橋 祥

明治四十一年五月二日陞叙 高等官六等

文部省

東京高等工業學校教授

敘正七位 從七位 黑六等 横田護臣

明治四十一年五月二日陞叙 高等官六等

東京高等工業學校教授

敘正七位 從七位 結城林藏

明治四十一年五月二日陞叙 高等官六等

東京外國語學校教授

敘正七位 從七位 本田 存

明治四十一年五月二日陞叙 高等官六等

東京外國語學校教授

叙正七位

従七位岡本正文

明治四十一年五月二日陞敘 高等官六等

東京高等工業學校教授

叙正七位

従七位關口八重吉

明治四十一年五月二日陞敘 高等官六等

第二高等學校教授

叙正七位

従七位加納清三

明治四十一年五月二日陞敘 高等官六等

廣島高等師範學校教授

叙正七位

従七位上原直松

文部省

明治四十一年五月二日陞敘 高等官六等

鳥取縣師範學校長

叙正七位

従七位矢島喜源次

明治四十一年五月三十日任 高等官六等

東京女子高等師範學校教授

叙從七位

正八位谷田部志ゆ人

明治四十一年五月二日陞敘 高等官七等

廣島高等師範學校教諭

叙從七位

正八位栗原源治

明治四十一年五月二日陞敘 高等官七等

長崎醫學専門學校教授

敘從七位

池上鶴香 一

明治四十一年五月七日任 高等官七等

京都帝國大學京都醫科大學助教授

敘從七位

長谷部言人

明治四十一年五月二十二日任 高等官七等

右謹 テ奏ス

明治四十一年七月四日

文部大臣男爵牧野伸顯



文 部 省

山林技師五十嵐嚴敷位ノ件別
紙上奏書進達ス

明治四十一年七月二十日

農商務大臣伊萬太郎惠武



内閣總理大臣伊萬太郎殿

五十嵐 嶽

教正八位

右謹テ奏ス

明治四十一年七月二十日

農商務大臣男爵太浦薰武



明治四十一年六月十八日
任山林技師敎高高等官八等

農商務省

89

言林堂二三八五

明治四十一年七月七日

遞信大臣子爵堀田正義

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

別紙塚本純太郎 叙位之件
上奏書進達人



右謹從七位

奏不

明治四十一年七月七日

通信大臣子爵堀田正養



四十年六月四日

住帝國鐵道廳技師

叙焉寺官七等

塙本純太郎

明治四十一年七月十七日

遞信大臣男爵後藤新平

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

別紙中村官康始三名叙位
之件上奏書進達ス



徙七位

四十一年六月十二日
任帝國鐵道廳主事

叙高寺官七等
信技師 同

中村官康
塾六等全先友太郎
因田意一

從七位 従七位 従七位 從七位
任帝國鐵道廳主事 四十一年六月十五日 任通
明治四十一年七月十七日 望 了 奏 久 叙高等官
同 年七月九日 任達信技師 同
任帝國鐵道廳主事 四十一年六月十五日
叙高等官

庄子奏久

遞信大臣男爵後藤新平



官秘文書
ニセシ

明治四十一年七月廿三日

遞信大臣男爵後藤新平

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

別紙栗野定次郎始二名進位
之件上奏書進達ス



従五位

正六位
世六年七月
正六位

帝國鐵道廳技師正六位栗野定次郎

従六位

正七位
世六年六月
正七位

通信事務官補正七位栗野山賀成亮

右ハ孰レモ叙位以来引續キ滿五年以上奉職シ勤勞勤サル者

三月頭書之通進位セラレ度履歷

書ヲ具レ謹テ奏ス

明治四十一年七月廿三日



遞信大臣男爵後藤新平

帝國鐵道廳技師正六位勳六等 粟野定次郎

岐阜縣平民

明治三年五月廿三日生

年號月日 任免賞罰資格在職年數通算

明治六年七月十日 正六位

從

六級

官俸

明治八年三月廿一日 正六位

三月廿日

五

級

官俸

明治九年四月一日 廢

三月廿日

四

級

官俸

明治九年四月一日 勤

三月廿日

六

等

官俸

明治十年四月一日 官制改正

三月廿日

四

級

官俸

明治十年七月廿一日 帝國鐵道廳技師奏任

三月廿日

五

級

官俸

高等官四等四級俸

奏任

遞

信

省

通信事務官補正七位熟六等山賀成亮

山口縣士族

安政六年九月十五日生

年
號
月
日

任免賞罰資格在職年數通算

正

通信事務官補
高級官等二級俸
委任

明治六年六月十日

合世八年六月廿日

一
勲

六
級

等
俸

合四十年六月廿日

八
月
八
日

一
級

等
俸

五年六月廿日

五年六月廿日

遞信省

位 動 爵	正七位 勲六等	氏 名	山賀成亮	印 賞
府縣族籍	山口縣士族	生年月日	安政六年九月十五日生	
戸主又ノ 主トノ 籍柄		產地		
舊 籍		舊氏名		
現住所				
年 號	月 日	任免貢罰其他事項		官 廳
明治廿六年 六月十日	叙正六位	通信事務官補 二級雜六等		
金廿八年 六月十二日	下関西郭便局長ヲ命シ	官内省 通信局		
廿九年 六月廿四日	叙勲六等授瑞宝章	官内省 賞勲局		
廿九年 四月一日	明治三十七八年事件ノ功徳依リ草先祖 日章及盾四百五十円ヲ授ケ賜フ	通信局 賞勲局		
履歷用紙				
遞信省				

四四七四号

若森美樹殿位、津別紙と書
書達不

明治四十一年七月二十日

統監代理

副統監子爵曾禱荒助



内閣總理大臣信濃桂太郎殿

統監府

100

敘正七位
右謹

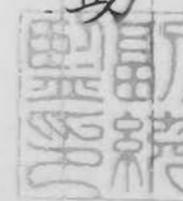
テ奏ス

明治四十一年六月十七日

統監府通信事務官補 萬葉官等 兵位惠等若森美樹

統監代理

副統監子爵曾禰荒助



統監府